

昆虫のひみつを調べてみよう



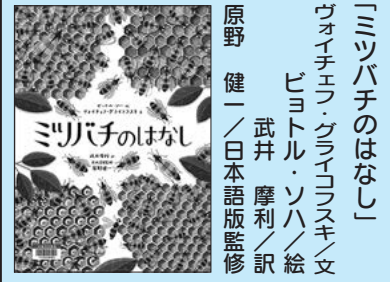
「ようこそ!」花のレストラン
多田 多恵子/写真・文

花のごちそうは、みつと花粉。それに虫が支払う代金は花粉の輸送です。あまい香りのするレストラン、羽音のひびくレストラン…。花と虫の関係を、「レストラン」と「お客」にたとえて紹介します。見返しに索引等あり。
多田多恵子(ただ たえこ)さんは、東京都生まれ。東京大学大学院博士課程修了。理学博士。立教大学・国際基督教大学・東京農工大学非常勤講師。植物生態学者。著書に「原寸で楽しむ身近な木の実・タネ図鑑&採集ガイド」など。



「空を飛ぶ昆虫のひみつ」
星 輝行/写真・文

昆虫のいろいろな飛び方、飛びメカニズム…。昆虫の飛び姿を鮮明な写真に撮り、空を飛びひみつを探る、写真絵本。昆虫以外の飛び生き物たちも紹介します。見返しに昆虫の写真あり。
星輝行(ほし てるゆき)さんは、神奈川県生まれ。日本獣医生命科学大学獣医学部卒業。昆虫写真家。オリジナル機材を使用した飛翔撮影、広角拡大撮影などに取り組む。



「ミツバチのはなし」
ヴォイチェフ・グライコフスキ/文
ピョートル・ソハ/絵
原野 健一/日本語版監修
武井 摩利/訳

ミツバチは、ハチミツを作るだけでなく、果物や野菜が実を結ぶのにも役立っている。恐竜のいた時代から現代まで、人間とのかかわりや、自然のなかでの役割など、ミツバチのすべてを、ユーモアあふれるイラストで描く。
ヴォイチェフ・グライコフスキさんは、ポーランド生まれ。教科書や科学の本に文章を書いているほか、科学雑誌やラジオ番組で翻訳者として活躍。

6月の催しもの	
とき	催しもの
3・10・17日(月)	午前11時～ あかちゃん絵本よみきかせ会
6・13・20日(木)	午前10時～午後0時30分 あかちゃんクラブラッコールーム
1・8・15・22日(土)	午前11時～ 「おはなし」と「あそび」の広場
2日(日)	午前11時～午後2時～ 子どもビデオ劇場
8日(土)	午後2時～ 夏のおはなし会
16日(日)	午前11時～午後3時～ 「父の日」のプレゼントをつくろう
22日(土)	午後3時～ 世界のお話ひろば
23日(日)	午前11時～午後3時～ 子ども工作教室「七夕かざり」

◆展示会 永田 貢 第7回紀行写真展
「インドネシアの生活と文化 総集編」6/1(土)～6/9(日)

◆展示会 柏東会 写真クラブ第1回写真展 6/14(金)～6/23(日)

- ◆「なまずこのっぺ?」 カーソン・エリス/さく
アーサー・ビナード/やく
- ◆「ゲッチョ先生のトンデモ昆虫記」 盛口 満/著
- ◆「昆虫最強王図鑑」 篠原 かをり/監修
児玉 智則/イラスト
- ◆「昆虫の体重測定」 吉谷 昭憲/文・絵
- ◆「さがしてごらん! 森のかくれんぼ」
伊地知 英信/構成・文
- ◆「小さな小さな虫図鑑」 鈴木 知之/写真・文
- ◆「虫のしわざ探偵団」 新開 孝/写真・文
- 蔵書と図書館システムの点検による休館
休館期間：6月24日(月)から7月5日(金)まで
※上記の休館に伴い、6月10日(月)から23日(日)までの間、資料の貸出期間を4週間とします。

俳句

「桑の実」
ふそう俳句会

桑の実の潰れポケットにある記憶
千田 一到
廃村の谷に眩しき藤の花
吉野 童子
五月雨や鉄橋白く波打てり
永井 年國

川柳

扶桑川柳クラブ

ばったりと出合うスーパール長話
大西 陽子
聞き上手ぐちも本音も散歩道
高木 節子
身に過ぎた宝となった友が出来
尾関ときよ

短歌

「令和を背負う」
ふそう短歌会

令和ちゃん四歳に女神舞い下りる
小野寺紀美代
梅雨空に紫かおる桐の花
鳥居 治子
気高き色に心澄みゆく
村雲たみえ
鮮やかに川面流れる花いかだ
君亡き春を恐れおりに
杜牧

詩吟

「漢江」
杜牧

溶々様々として白鷗飛ぶ
緑深く春深うして好し衣を染むるに
南去 北来人 自ら老ゆ
夕陽 長えに送る 釣船の帰るを

「意」漢江の水は、ゆったりとまた盛に流れている。その水面を白鷗が飛んでいる。春深うして緑鮮かで、我が衣も染まりそつ。人はいそがしそうに行き来するうち老いてしまつのだ。夕陽はいつまでも家路に帰る釣り船を照らしている。

正風流二代目家元 山内 正風